

海外感染症流行情報(2013年12月)

東京医科大学病院 渡航者医療センター

・中国で鳥インフルエンザ H7N9 の患者が増加

中国の沿岸部では10月から鳥インフルエンザ H7N9 の流行が再燃していますが、12月も5人の患者が発生しました(WHO Global Alert and Response 2013-12-10, 20)。10月以降の累積患者数は12人で、地域別では浙江省で5人、広東省で5人、香港で2人となっています。香港で発生した2人の患者は、いずれも広東省の深センを訪問中に感染した模様です。ほとんどの患者は市場などで生きた家禽と接触しており、患者が発生している地域では、こうした市場に立ち入らないことが大切です。また、ニワトリの肉や卵を食べる際には十分に加熱してください。WHOは、現時点でウイルスがヒトからヒトに持続的な感染をおこす可能性は低いとの見解を発表していますが、今後も警戒を続ける必要があります。なお、12月中旬に中国の広西省で鳥インフルエンザ H10N8 の患者(73歳女性)が発生し、重症の肺炎で死亡しました(WHO Global Alert and Response 2013-12-20)。このタイプのウイルスがヒトに病気をおこしたのは初めてですが、周囲に新たな患者発生はみられていません。

・MERS コロナウイルスの流行状況

12月も中東ではMERS コロナウイルスの患者が発生しており、累積患者数は12月22日の時点で166人(71人死亡)になりました(WHO Global Alert and Response 2013-12-2, 17, 22)。11月26日以降の患者数は6人で、国別ではUAE4人、サウジアラビア2人となっています。UAEでは患者数が増加していますが、サウジアラビアでは患者発生が減少傾向にあるようです。感染経路についてはラクダからの感染が疑われており、カタールではMERS患者が接触したラクダの体内からウイルスが分離されています(WHO Global Alert and Response 2013-11-29)。

・ヨーロッパ各地で麻疹が流行

ヨーロッパ各地で麻疹の流行が報告されています。

英国ではウエールズで2012年12月から流行が発生し、今年の7月までに1200人の患者が確認されました。オランダでも今年は11月までに2300人、ドイツでも1700人の患者が発生しています(ヨーロッパ CDC 2013-11-29)。またトルコでは南部を中心に今年になり7000人以上の患者が発生している模様です(米国 CDC Traveler's Health 2013-12-20)。日本では今年の麻疹患者数が200人程で、この数と比べてもヨーロッパで患者数の多いことがわかります。過去に麻疹のワクチン接種を受けていない人は、途上国だけでなくヨーロッパに長期滞在する際にも麻疹ワクチンの接種を検討してください。

・東南アジアでの Dengue 熱 流行状況

12月になり東南アジアでは全般的に Dengue 熱 の流行が沈静化していますが、マレーシアでは患者数が増加傾向にあります(WHO Western Pacific Region 2013-12-11)。また、シンガポールでも患者発生が続いており、12月末の時点で患者数は2万人を越えました。これは2012年の5倍の数になります。

シンガポール政府は患者が発生している地域を細かく報告しており、その情報は下記のサイトで見ることができます。<http://www.dengue.gov.sg/subject.asp?id=74>

・フランス領ポリネシアで Zika ウイルスの流行が発生

フランス領ポリネシアでは 10 月中旬から Zika ウイルスによる感染症が流行しており、12 月上旬までに患者数(疑いを含む)は 3 万 5000 人を越えました(米国 CDC Traveler's Health 2013-11-21)。フランス領ポリネシアには観光地として人気の高いタヒチも属しており、12 月には日本人の患者も報告されています(ProMED 2013-12-18)。このウイルスはネッタイシマカが媒介するもので、デング熱と似た症状がみられます。正月休みにタヒチなどを訪れる際には、蚊に刺されないよう十分にご注意ください。なお、ネッタイシマカは昼間吸血するので、海辺などで日光浴をする際にも注意が必要です。